



Title	全学出動体制を目指したアカデミック・ライティング指導と教材作成
Author(s)	堀, 一成
Citation	高大連携物理教育セミナー報告書. 2015, 26
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/52378
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

全学出動体制を目指した アカデミック・ライティング指導と 教材作成



大阪大学 全学教育推進機構
堀 一成



本日の内容

- 大阪大学のライティング教育の現状
- 全学出動態勢に向けたライティング教育参加要請
- 新入生配布小冊子・教員マニュアル・FDプログラムの紹介
- 今後に向けて

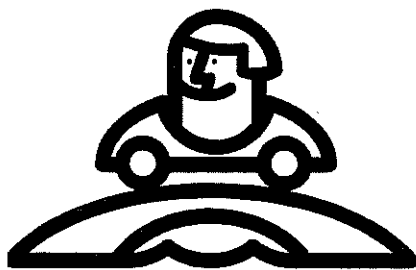
自己紹介 その1

- 1・2年生を対象とする共通教育（教養教育）を担当する組織の教員
主な研究分野は 多言語資源・ライティング教育など
- 旧大阪外大では情報リテラシー教育やプログラミング教育を担当
- 旧大阪外大 情報処理センター長
（平成16年4月～平成19年9月）
情報システムの運営や監査なども担当
- 最近、図書館利用教育など学習者中心教育の試みに
仕事が生シフト、教育学習支援センター副センター長

自己紹介 その2

- 元々は固体物理の研究（コンピュータシミュレーション）
「非線形格子振動の局在モード」
「アルカリハライド結晶のSnイオン色中心に対する4次の非線形格子振動効果」
- 学位取得後 詫間電波工業高専（現香川高専）で
「固体物理」、「熱力学」、「電子制御実験」
などを担当
- 現在も共通教育科目「文系学生のための科学実験」
で、物理・数学・情報分野の主担当
- 高校・中学 専修「数学」免許

自分の立ち位置



文系

理系

これまでも、これからも、..

大学におけるライティング指導の方法

- アカデミックスキル科目で講義実習
(対面授業・e-Learning)
- ライティングセンターでの対面個別指導
- 図書館等のイベントなどでの指導
- 初年次専門ゼミ科目での個別指導
- 研究室配属後の指導教員や
先輩大学院生からの直接指導
- 自分で関連の本を読むよう指示

などなど、..

大阪大学(学部新入生約3500名) におけるライティング教育の現状

- 全学向けライティングセンター なし
- 全学必修 アカデミックスキル科目 なし
- (H25年度まで) 共通のテキスト なし
- 図書館コモンズ利用講習会(年間100名程度)
- TAサポートの利用(年間数十名程度)
- ライティング基礎セミナー(年間数十名程度)
- その他開設科目(年間数十名程度)

図書館コモンズ開催イベント

- 初年次向け(共通教育科目のレポートが対象)
「レポートの書き方講座」(2010年6月～)
90分講習3回セット 各回参加者十数名程度
- 高学年次向け(卒論作成を視野に)
「論文の書き方・文献の読み方 プチゼミナール」
90分講習4回セット 各回参加者数名程度
- 図書館TAによる論文検索等講習会
- 図書館職員による「プレゼン入門」講習会
- いずれも自由参加(履修単位とは無関係)



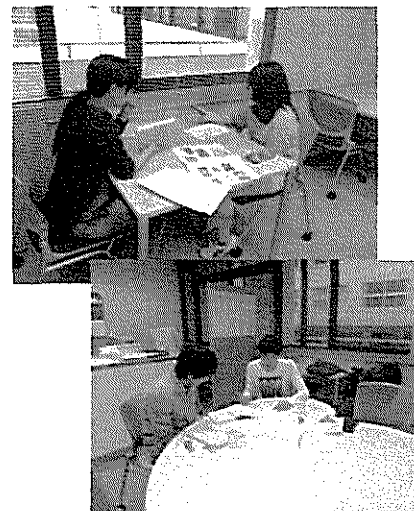
ライティング指導基礎セミナー

- 前期4コマ、後期1コマ 90分15回授業
(受講者は各20名くらい) 担当者 坂尻・堀
- 図書館での情報探索、
リーディングのテクニック、
プレゼン準備なども実習
- グループ(4~5人)でテーマを決め
個別にライティングにチャレンジ
- ほぼ毎回宿題を出させて、フィードバック



ガイダンス室でのアカデミックサポート

- 毎曜日午後
大学院生が待機
- 学習に関する
質問受け付け
- ライティング指導
をする場合もある
- 数学と物理の
サポートを重視



10



大阪大学の抱える問題点

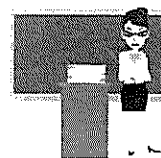


- ライティング指導担当者の不足
 - 固定したライティングセンターがまだ無い
 - ほぼ全学必修情報リテラシー科目での
ライティング関連内容の不足
 - 研究センター大学における教員の意識欠如
 - 「学士課程を通じたライティング指導」の
発想にとぼしい
 - 学内ライティング指導の試みの
つながりが不十分
- ↓
- どうするか？



ライティングセンター無し、 全学アカデミックスキル教育科目無し の大学のとるべき道

- 全教員が少しずつ担当できるようにする
科目内でのライティング指導の要請(教育担当副学長)



平成26年度は
基礎セミナー科目
担当者のみ

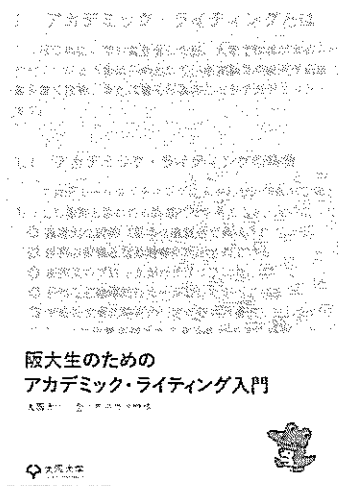
(堀・坂尻)

学生用冊子、教員マニュアル、FDプログラムのセット

17

学生配布用小冊子

- ・ アカデミック・ライティングの必要事項をコンパクトにまとめた(A5 32ページ)
- ・ H26年4月新入生全員(約3500名)に配布した
- ・ 剽窃禁止・情報倫理の内容を特に強調
- ・ 細かい形式の注意や提出前チェックリストも



教員用マニュアル

- ・ 小冊子を使って教える教員のための指導内容の手引き(サンプル提示)
- ・ 阪大のライティング教育の現状
- ・ ライティング指導すべき項目案
- ・ ルーブリックの利用も提案

小冊子・教員マニュアルの 大学リポジトリデータ化(配布省力化)

大阪大学リポジトリOUKAよりPDFが
自由にダウンロードできる
学生配布小冊子

<http://hdl.handle.net/11094/27153>

教員マニュアル(関連スライドも)

<http://hdl.handle.net/11094/27594>

【2014年】 ()内は学内ダウンロード数

	4月	5月	合計
冊子	2,766 (336)	470 (115)	3,236 (461)
マニュアル	2,274 (66)	702 (20)	2,976 (86)

ライティングFDプログラム

- ・ 学生は何が分かっていないか、何を説明すると良いか、グループワーク形式でディスカッション
- ・ e-LearningシステムCLEのコピペ対策レポートシステムの紹介
- ・ 2013年度は豊中のみ1回開催
2014年度は3キャンパス(豊中・吹田・箕面)で各複数回実施の予定(学外受け入れも検討)

今後の課題

- 学部・学科コースデザイン(これから本格始動)と整合性をどうとるか



本当の全学出動体制確立に向けて

- マネジメント担当者拡大をどうするか
- ライティング指導可能なTAの養成
(本年度後期から大学院生向け科目設立の予定)
- やっぱりライティングセンター要る？

大学に入ってからでは遅いのでは？

- アメリカでは小学校から鍛えている
(早稲田大学 佐渡島先生談話より)
- 所作しつけと同じで
最初から良いふるまいをするよう
指導すべきでは
- 高大だけでなく小中とも連携を

新課程修了生に期待？

- 「言語活動を充実する趣旨を確認し、各教科等の目標と関連付けた効果的な指導を行うこと」
- 「言語活動が、論理や思考などの知的活動やコミュニケーション、感性・情緒の基盤となるものであり、生徒の思考力・判断力・表現力等を育むために有効な手段である」
- 高等学校等の新学習指導要領の実施に当たって
(通知)平成25年4月1日より引用
平成27年度新入生に期待！

まとめ

- 大阪大学のライティング教育の現状
- ライティング指導担当でない教員にもライティング教育参加を要請した
- 新入生配布小冊子・教員マニュアル・FDプログラムの紹介
- 今後の取り組みと将来への期待